

STAGE+を楽しむ(164)(HP 収載)
—第 16 回ゲザ・アンダコンクール—

1. 始めに

前報(163)に引き続き、STAGE+の第 16 回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール〜ファイナルの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、第 16 回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール〜ファイナルの演奏を選びました。

ライブ配信 2024 年 6 月 9 日 1:30

第 16 回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール〜ファイナル

トーンハレ・チューリッヒ

1. 再配信 2024 年 6 月 9 日 9:00

2. 再配信 2024 年 6 月 9 日 20:00

マルタ・アルゲリッチ、ロバート・レヴィンらピアノ界の著名人が並ぶ審査員の前で、第 16 回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールのファイナリスト 3 名がパーヴォ・ヤルヴィとチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と共演します。それぞれバルトーク、ベートーヴェン、グリーグの協奏曲と、審査員の一人である細川俊夫の作品を演奏します。演奏終了後には表彰式が行われます。

ソリスト:

イリヤ・シュムクレル (ピアノ)、ドミトリー・ユーディン (ピアノ)、ダウマンツ・リエピンス (ピアノ)

演奏:

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

指揮:

パーヴォ・ヤルヴィ

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ協奏曲第 4 番ト長調 op. 58
ダウマンツ・リエピンス(ピアノ)

ベラ・バルトーク ピアノ協奏曲第 2 番 BB 101, Sz. 95
ドミトリー・ユーディン(ピアノ)

エドヴァルド・グリーグ ピアノ協奏曲イ短調 op. 16
イリヤ・シュムクレル(ピアノ)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpLを接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。今回も、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンブ端子を装着しています。さらに今回も、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal Eとの接続と DA-3000 と自作仮想アースへのアースアキュライザーの導入と AV ドーナツの使用などを行っています。

2024年6月9日 9:00からの再配信を試聴しました。

ゲザ・アンダはベートーヴェンのソナタなどの盤をよく聴いていますが、その名を課したコンクールがあるのは知りませんでした。コンクールの参加者は課題曲から選択し、審査員の細川俊夫の作品も演奏します。

最初に司会者から審査員などの紹介があつて競演が始まりました。

リエピンスのベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番の演奏は、爽やかなベートーヴェンです。



ユーディンのバルトークのピアノ協奏曲第2番の演奏は、賑やかなバルトークらしい曲を豪快に弾いています。



シュムクレルのグリーグのピアノ協奏曲の演奏は、インターミッションの後で、北欧の情緒を表現した演奏でした。



長いスピーチと後援への謝辞の後、審査の結果のいろいろな賞の受賞と優勝者のシュムクレルへの受賞の紹介がありました。リエピンスとユーディンは2位で、日本の久末航も受賞しました。

https://a-delp.blog.jp/2024-06-09_AndaG%C3%A9za

チューリッヒ・トーンハレの演奏は CD の他の曲で聴いていますが、ライブ収録は初めてで、このホール of 豪華な内装を反映して音がよく、ピアノもきらきらと輝かしく響きます。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LAN ポートにフェルトダンプ端子を装着し、さらに Brooklyn DAC+ と仮想アース Crystal E との接続にアースアキュライザーを使用してみたことで、チューリッヒ・トーンハレの音も的確に捉えられ、若い演奏者達の潑瀾とした演奏が聴けました。

以上